

東北農業青年応援通信第120号

トピックス

1. 「新・農業人フェア2025」の開催について（株式会社農協観光）
2. 令和7年度「新農業人フェア in いわて」（第1回）を開催！（岩手県、公益社団法人岩手県農業公社）
3. 「令和7年度東北地域オーガニックビレッジフォーラム」の開催について（東北農政局）
4. 「雇用就農資金」令和7年度第2回目の募集を実施中です（令和7年10月事業開始分）（農林水産省）
5. 令和7年度「リモート就農体験ツアー」（第1回）を開催！（岩手県）
6. 「ヤンマー学生懸賞論文・作文」募集（ヤンマーアグリ株式会社）
7. 農業経営塾の開講予定情報について（農林水産省）
8. 「新・農業人ハンドブック2025」について（農林水産省）
9. 「農業経営支援策活用カタログ2025」について（農林水産省）

1. 「新・農業人フェア2025」の開催について（株式会社農協観光）

「新・農業人フェア」（主催：（株）農協観光、運営協力：マイナビ農業）が今年も開催されます。日本全国の自治体、就農支援機関など各種団体がメインで出展する「農業 EXPO」、農業法人の出展に特化した「農業就職・転職 LIVE」の2種類があり、いずれも支援制度や研修制度、農業の働き方、地方への移住など、就農に向けた新しい発見が見つかるコンテンツが多数用意されております。本年度初回は8/2（日）農業就職・転職 LIVE（東京で開催）で、開催日程等その他詳細はホームページに掲載されております。農業に関心のある方は、ぜひご参加ください。

<詳しい内容や申込方法はこちらから>（公式ホームページ）

<https://agri.mynavi.jp/shin-nogyojin/>

2. 令和7年度「新農業人フェア in いわて」（第1回）を開催！（岩手県、公益社団法人岩手県農業公社）

岩手県では、「新農業人フェア in いわて」を開催します。岩手県内で農業にチャレンジしたい方々へ、就農に関する情報を提供する県内最大級のイベントです。

セミナーでは就農者の事例発表が行われ、個別相談会では県内の農業法人、県・市町村、農業関係機関などが就農や求人、農業体験、研修などについて、ご相談に応じます。

なお、求職中の方は、雇用保険の求職活動実績になります（証明は、ハローワーク盛岡ブースで行います）。

農業に興味のある方、農業を始めたい方は、ぜひご参加ください。（事前予約不要）
<詳しい内容はこちらから>（岩手県）

<https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/2004700/2005356.html>

3. 「令和7年度東北地域オーガニックビレッジフォーラム」の開催について（東北農政局）

農林水産省では、令和3年5月に策定した「みどりの食料システム戦略」において、2050年までに有機農業の取組面積を耕地面積の25%に当たる100万ヘクタールまで広げる目標を掲げています。

この目標の実現に向けて、令和6年12月時点、全国131市町村（東北18市町村）で有機農業の拡大に向けた取組が開始され、2030年までに200市町村の創出を目指しています。

本フォーラムは、有機農産物の流通と消費について知見を深め、有機農業の拡大を図るとともに、新たなオーガニックビレッジの創出につなげることを目的として開催します。

<詳しい内容や申込方法はこちらから>（東北農政局）

<https://www.maff.go.jp/tohoku/press/kankyo/250709.html>

4. 「雇用就農資金」令和7年度第2回目の募集を実施中です（令和7年10月事業開始分）（農林水産省）

農林水産省では、雇用就農者の確保・育成を推進するため、50歳未満の就農希望者を新たに雇用する農業法人等に対して資金を交付しています（雇用就農資金）。

現在、事業実施主体である一般社団法人全国農業会議所（全国新規就農相談センター）において、以下のとおり令和7年度第2回目の募集を実施しています。

募集要領、申請様式は全国新規就農相談センターのホームページ又は各都道府県の農業会議等で入手できます。

<事業タイプと募集期間について>

(ア)雇用就農者育成・独立支援タイプ：令和7年7月1日（火）から8月4日（月）まで

(イ)新法人設立支援タイプ：令和7年7月1日（火）から8月4日（月）まで

(ウ)次世代経営者育成タイプ：令和8年1月30日（金）まで随時募集

<詳しい内容や申込方法はこちらから>（全国新規就農相談センター）

https://www.be-farmer.jp/farmer/employment_fund/

5. 令和7年度「リモート就農体験ツアー」（第1回）を開催！（岩手県）

岩手県では、岩手で農業を始めることに興味のある方を対象に「リモート就農体験ツアー」を開催します。

Zoom で現地とつなぎ、収穫作業の様子や日々の仕事風景をライブで配信します。

中継先は、「農事組合法人となん」です。米、野菜の栽培・収穫作業をご紹介します。

岩手の農業や移住に関心のある方、ぜひご参加ください。（事前予約）

[【リモート就農体験ツアー】申し込みフォーム](#)

<詳しい内容はこちらから>（岩手県）

<https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/2004700/2011851.html>

6. 「ヤンマー学生懸賞論文・作文」募集（ヤンマーアグリ株式会社）

ヤンマーアグリ株式会社では、次世代を担う若者たちに農業と農村の未来について、自由な発想を論じてもらうことを趣旨として、「ヤンマー学生懸賞論文・作文募集事業」を実施しています。

現在、10月20日（月）まで応募作品を募集していますので、この機会に是非ご応募ください。

<詳しい内容はこちらから>（ヤンマーアグリ株式会社）

トップページ

<https://www.yanmar.com/jp/agri/agrilife/prize/>

ポスター

https://www.yanmar.com/media/news/2025/05/22004806/36th_poster.pdf

7. 農業経営塾の開講予定情報について（農林水産省）

各地域では都道府県等が実施主体となり、地域の農業者が営農しながら体系的に経営を学ぶ場として農業経営塾を開講しています。

農林水産省では、都道府県ごとの農業経営塾の開講予定を紹介しておりますので、ぜひご活用ください。

<詳しい内容はこちらから>

農業経営力や指導力強化のための各種研修（農林水産省）

https://www.maff.go.jp/j/new_farmer/n_kyoiku/kennsyuu.html

農業経営塾の開講予定都道府県（令和7年度分）（農林水産省）

https://www.maff.go.jp/j/new_farmer/n_kyoiku/attach/pdf/kennsyuu-8.pdf

8. 「新・農業人ハンドブック2025」について（農林水産省）

農林水産省では、「農業をやってみたいけど、誰に相談したら良い?」「どんな支援策がある?」こんな疑問をお持ちの方向けに、就農相談窓口や就農体験、研修中や就農後に受けられる支援情報など、それぞれのステージ別に活用可能な情報をまとめた「新・農業人ハンドブック」を作成しています。この度、2025年度版が公表されましたので、ぜひご覧ください。

<詳しい内容はこちらから>（農林水産省）

https://www.maff.go.jp/j/new_farmer/pdf/handbook_2025.pdf

9. 「農業経営支援策活用カタログ 2025」について（農林水産省）

農林水産省では、農業を営まれる方の経営発展に役立つ主な支援策を紹介する「農業経営支援策活用カタログ」を作成しており、令和7年度予算を中心に、令和7年4月時点の内容をまとめたカタログを公開しています。「人と農地の問題」の解決、経営継承の支援、経営発展に向けた取組のほか、機械・施設の導入、輸出や環境への取組など幅広い支援策等を掲載しておりますので、ぜひご活用ください。

<詳しい内容はこちらから>（農林水産省）

https://www.maff.go.jp/j/kobetu_ninaite/n_pamph/attach/pdf/180529-35.pdf

■ □ ■ ————— ■ □ ■

発行：東北農政局経営・事業支援部経営支援課

〒980-0014

宮城県仙台市青葉区本町3丁目3-1

TEL：022-221-6217

◇バックナンバーはこちらから↓

https://www.maff.go.jp/tohoku/keiei/new_farmer/ouen.html

◇このメールマガジンについてのご感想・ご意見がある方や配信停止をご希望される方は、下記メールアドレスまでご連絡ください。

tohoku_ag-seinen@maff.go.jp

■ □ ■ ————— ■ □ ■